

【専門分野】

科目名	成人看護援助論Ⅳ (終末期)	講師名	岡山医療センター看護師 A (18)	学 年	2	履 修 期	第1学期		
単 位	1単位		岡山医療センター看護師 B (4)						
時間数	30時間		岡山医療センター看護師 C (4) 岡山医療センター助産師 (4)						
授業概要	ライフサイクルにおける成人期にある対象の特徴を理解し、健康段階に応じた看護の役割、機能、疾患や症状に応じた援助について学ぶ。								
授業科目目標	1. 終末期にある患者の全人的苦痛と死の受容過程を理解し、人生の最後のときを支える看護について理解できる。 2. 患者に起こっている機能障害に伴う症状の看護、検査・治療の看護が理解できる。								
授業計画	<p>1～6回：終末期にある患者・家族の特徴</p> <p>1) 全人的苦痛 (身体的、精神的、社会的、霊的)</p> <p>(1) 終末期看護の特徴</p> <p>(2) 終末期看護に適用される理論・モデル (事例の活用) (キューブラ・ロスの「死にゆく過程」)</p> <p>1) 死の受容過程</p> <p>2) 悲嘆</p> <p>7～8回：終末期にある患者・家族への援助</p> <p>1) 苦痛の緩和</p> <p>(1) 疼痛 (2) その他の症状</p> <p>2) 死の看取り</p> <p>3) 死後のケア</p> <p>4) エンド・オブ・ライフケア、アドバンスケア・ライフプランニング</p> <p>9～10回：終末期の呼吸機能障害のある患者の看護</p> <p>1) 肺がん患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護 (咳嗽)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護 (気管支鏡検査、手術後の胸腔ドレナージ、放射線療法)</p> <p>11～12回：終末期の身体防御機能障害のある患者の看護</p> <p>1) 白血病患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護 (貧血、出血傾向)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護 (骨髄穿刺、化学療法、造血幹細胞移植)</p> <p>13～14回：終末期の性・生殖機能障害のある患者の看護</p> <p>1) 子宮がん患者の看護</p> <p>(1) 症状に伴う看護 (性器出血)</p> <p>(2) 検査、治療を受ける患者の看護 (子宮全摘出術後の看護、内診、放射線療法)</p> <p>15回：終了試験</p>					講義 グループ ワーク DVD	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験								
テキスト	<p>1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論, 医学書院.</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器, 医学書院.</p> <p>3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [4] 血液・造血器, 医学書院.</p> <p>4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [9] 女性生殖器, 医学書院.</p> <p>5. 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論, 医学書院.</p> <p>6. 井上智子: 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図, 医学書院.</p>								
参考書	<p>1. 関口恵子: 経過別看護過程の展開, 学研.</p> <p>2. 市村久美子: 看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント 第4版, 学研.</p>								
学生へのメッセージ	<p>人生最期の時を支える時、どのような看護が必要になるのか、講義から一緒に考えていきましょう。また、自分自身の「死」に対する看護も深めていきましょう。 【関連科目】解剖生理学Ⅱ・Ⅳ、病理学Ⅱ・Ⅳ、成人看護学概論</p>								